

**磯城郡議員団だより**

芝和也 Eメール info@k-shiba.jp  
 川西町結崎862-7 0745-43-2415  
 吉田容工 Eメール katunori\_yosida@ybb.ne.jp  
 田原本町大木113-5 090-5257-4446  
 森良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp  
 田原本町鍵281-1 0744-33-8570  
 (事務局)池田年夫 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp  
 三宅町屏風440-5 0745-43-2661

**原発推進の9電力会社役員206人**

**自民に献金2800万円  
 やらせメールの  
 九電も157万円**

原発を持たない沖縄電力を除く東京電力など9電力会社の役員ら206人が、自民党側に、2009年の1年間に判明しただけで、約2800万円もの献金をしていたことが、本紙の調べでわかりました。

**原発持たない沖縄電力除く**

自民党の政治資金団体「国民政治協会」の09年分の政治資金収支報告書を調べたもの。

これによると、もっとも多かったのは、東電の47人、569万円。勝保恒久会長、清水正孝社長(当時)が30万円、経済産業省 B(資源エネルギー庁次長)の白川進副社長(当時)ら6人の副社長は全員が24万円など、献金額が職位によってランク付けがされているのが特徴です。事故後、社長に就任した西澤俊夫常務(当時)は12万円でした。

献金額が、次に多いのは、中国電力の450万円。福田督会長(当時)、山下隆社長(現会長)が38万円、副社長が32万円などと、同様にランク付けがされています。山口県に計画中の上関原発の「立地プロジェクト長」を兼任する苅田知英社長(当時常務)は26万円でした。

玄海原発の運転再開をめぐる「やらせ」メール問題が発覚した九州電力は、松尾新吾会長、真部利広社長が各20万円など、計16人で、157万円。「玄海原発の運転再開に賛成する意見の投稿を増やすことが必要である」として、国主催の「説明番組」の周知を指示した原子力担当の段上(だんがみ)守副社長

(当時)は15万円でした。電力業界は、かつて鉄鋼、金融とともに「献金」三家」といわれ、自民党側に多額の献金をおこなってきたが、石油ショック後の1974年、電気料金引き上げへの世論の批判をかわすために企業献金をやめています。

しかし、役員のリランク付けした個人献金という形で、事実上の企業献金は各電力会社とも続いています。

電力業界と自民党との癒着は変化がありません。

自民党は、東電福島第1原発事故後、党内の経済産業部会、電源立地及び原子力等調査会などの三つを合体して「エネルギー政策合同会議」を発足させました。委員長は、甘利明元経済産業相が就任、4月12日の初会合には、東電の元副社長で現在は東電顧問の加納時男元参院議員が「参与」として幹部陣の隣に座るといって「原発推進派」の旗揚げでした。

同会議副委員長の西村康稔衆院議員が「当面、原発を立ち上げていかなければ経済はもたない(10日、NHK「日曜討論」)と発言するなど、「安全神話」にのっかかり、原発を推進してきたことに反省がありません。

電力会社役員への国民政治協会への献金(2009年)(単位:万円)

北海道電	28	219
東北電力	14	170
東京電力	47	569
中部電力	25	406
北陸電力	14	251
関西電力	11	172
中国電力	16	450.5
四国電区	35	397
九州電力	16	157
計	206	2791.5

(注) 政治資金収支報告書などで作成

2011年7月16日(土)「しんぶん赤旗」

**市田氏会見、**

**今こそ原発撤退決断を  
 首相の「脱原発依存」発言で**

菅直人首相は13日、首相官邸で記者会見し、原発への依存度を下げ、将来なくともやっていける社会をめざすと表明しました。これについて日本共産党の市田忠義書記局長は同日、国会内での記者会見で、「深刻な原発事故の現実や原発からの撤退を求める国民世論や運動、わが党の提言や論戦などを通じて、これまでの原発固執の態度をある程度変えざるを得なくなつたもので、それ自体は前向きなものだ」と指摘しました。

その上で、菅首相が「原子力は律することのできない技術だと痛感した」と述べたことをあげ、「そう言うのであれば、原発からの速やかな撤退を決定し、期限を切つた具体的な撤退のプログラムを国民の前に明らかにすべきだ」と強調しました。

市田氏は、日本共産党として、原発からの撤退をすみやかに決断し、5、10年内に撤退する計画を策定すること、それと同時に並行で自然エネルギーの本格的

**東日本地震への**

**救援募金にご協力を**

日本共産党は被災者の救済・支援のために、救援募金を呼びかけています。

【郵便振替口座】

0017017198422

名義は、日本共産党中央員会です。

送金いただく場合は、振替用紙の通信欄に、かならず、「地震救援募金」である事を明記して下さい。ご協力よろしくお願ひします。

磯城郡日本共産党議員団

導入を進めることなど、政府に提言していることを紹介し、世論と運動と結んでその実現のために全力をあげる決意を表明しました。

2011年7月14日(木)「しんぶん赤旗」

**国民年金納付率 59%に  
 過去最低 背景に不安定雇  
 用増 厚労省発表**

厚生労働省は13日、2010年度の国民年金保険料の納付率が59.3%となり、前年度(60.0%)を下回って過去最低を更新したと発表しました。納付率が前年度を下回るのは5年連続で、現行制度開始(1986年)以来、60%を割り込んだのは初めて。20歳代の納付率は40%台後半と、とくに低くなっています。

雇用環境の悪化で、臨時・パートの割合が増加しており、不安定雇用で月額保険料(10年度1万5100円)が払えない人が増えていることが背景にあると同省は指摘しています。

2年間にわたり滞納の人は321万人で前年と同じ。公的年金にまつたく入っていない未加入者は9万人と推定されています。

低所得で保険料が払えず申請して全額免除になつている人は221万人で、前年度末に比べ7万人増加、一部免除者は44万人(同4万人減)となつています。国民年金加入者(第1号被保険者)自営業、非正規労働者、無業者などその配偶者)1938万人のうち、未納者と免除・猶予者が合わせて873万人と45%を占めます。

未加入、未納の場合、その期間の年金は払われないので低年金となります。納付期間が25年に達しなければ、まったく年金が受けられず無年金になります。

また申請減免の場合、その分、年金額が減らされ、きわめて低年金となります。将来の無年金・低年金者が増大し、国民皆年金制度を揺るがしかねません。

2011年7月14日  
 (木)「しんぶん赤旗」





## 原発を0に！

十七日、党創立八九周年記念講演会が、なら一〇〇年会館であり、衆議院議員の宮本たけしさんが原発について講演されました。

福島県南相馬市に住む九三歳の女性が、六月「老人は足手まといになります。お墓に避難します」と書いて自らの命を絶つたと聞いて、涙が出ました。辛い戦争を体験し、長い間働き続けてきたお年寄りの最期がこれ。この国は本当におかしいよ！

又、小、中学生の副読本を出したのは、文部科学省と電気事業担当課とか、「原発は安全、震度六にも耐えられる」なんて嘘ばかり。子ども達にまで「安全神話」を振りまいていたとは。

宮本議員は「どんな安全対策をとつても、安全な原発などありえず、重大事故のおこる可能性を排除することは出来ない。日本は豊かな自然に恵まれている。この自然を利用すれば、今、五四基あ

る原発の四十倍の電力を生み出せる。だから日本共産党は五十年以内を目標に、原発から撤退する計画を政府が策定することを提案する」と強く調されました。

本間に近い将来、原発がなくなり、自然再生エネルギーで発電できる世の中になると、お墓に避難するお年寄りは、いなくなるでしょう。そんな日が、早く来てほしいものです。

田原本町議会議員  
森 良子



## 被爆

いま日本は4回目の放射能被害者を作り出そうとしています。広島・長崎、ビキニに続いて福島第1原子力原発の爆発による被害を作り出そうとしています。牛肉・農作物と放射能汚染が広まっています。

先日、広島・長崎の被爆にあつた被災者が作った詩の朗読劇を鑑賞しました。以前あつた「8月のメモリー」に次ぐ朗読劇「夏の雲は忘れない」です。

当日は「夏の会」女優のメンバーとともに「奈良演劇鑑賞会」のメンバーと一緒に詩の朗読を行いました。

朗読劇「夏の雲は忘れない」について評論家の

池田 年夫  
三毛町  
吉武輝子さんは「大人の責任は戦争について語り部になることだ」と訴えておられます。作家の早坂暁さんは「日本という国は悲しいぞ。世界で唯一の被爆国だと毎年ヒロシマの原爆の日に挨拶する日本国の首相たちは、核に廃絶を訴える。この嘘つきめ！」と怒りの声を寄せられています。



## ギャンブルいらない宣言

七月十四日(木)臨時議会が開かれ、賛成多数で「ポートピア設置に反対を求める請願」が採択されました。

請願が「議会が反対の意思を表されたい」となっていたことから「ポートピア建設に反対する決議(案)」が提案され、これも、賛成多数で採択されました。

「決議」は、「田原本町百年の大計に照らし、将来に禍根を残すポートピアの建設に対し、議会として反対することを決議する」と高らかに宣言しています。議会の理性が発揮された次第です。

これで、本町に競艇場の場外券売場を建設する事はできなくなりまし。本町にギャンブル場はいらない」と署名や議会傍聴にご協力いただいたたくさんの方々の思いが実りました。委員会傍聴の時は、議員の目の前に住民の方が座っておられる状態で、傍聴者の真剣さが伝わってきました。

田原本町議会議員  
吉田 容上



## テレビ難民

さあ、いよいよ女子のワールドカップサッカー決勝が始まりますね。今はキックオフの五時間前です。ファンの皆さんはものすごく気持ちが高揚されている事でしょうね。私も一応は気にしているんですが、多分、生中継はよう見やんやろなあと、今は思っています。でも、気持ちは応援しているんですよ。日本チームの皆さん頑張ってください。

で、このサッカー中継も含めまして、どのくらいの皆さんが地デジ対応のテレビで観戦しはるんでしょうか。実は我が家はまだアナログでして、カウンタダウン表示を毎日見えています。はよ買わんとおもうつつ、ぐずぐずしてまして、先週の月曜日にやっと注文してきました。買いに行くまで知らなかったんですが、テレビには間に合いそうに有りませんね。アンテナは最短でも一月半程先になるそうですし、チューナーに至っては、入荷の目途は全く立っていないのでした。ひよつとした間、テレビ難民になりそうです。

川西町議会議員  
芝 和也

